



平成30年度  
障害者雇用促進  
支援事業事例集



東京都産業労働局



# 目次

はじめに.....	1
障害者雇用促進支援事業の概要.....	2
支援事例	
①アトリエ渋谷.....	3
②モンテカンポ.....	11
支援企業へのアンケート結果.....	18



## はじめに

2018年4月から、精神障害者が雇用義務の対象に加わり、法定雇用率が2・0%から2・2%に引き上げられました。2021年4月までには、さらに2・3%まで引き上げられます。

このことから、障害者雇用への企業からの関心は、一層高まっていると考えられます。

その中、ソーシャルファームの推進も見据え、ビジネスとの両立を図りながら障害者雇用の拡大等に積極的に取り組む企業に対し、雇用環境面・経営面等からの支援をパッケージでモデル的に提供し、その効果検証を行っていくために、障害者雇用促進支援事業を開始しました。

本冊子では、この事業を活用した企業の皆様を紹介し、ビジネスとの両立を図りながら障害者雇用の拡大等に積極的に取り組むためのノウハウや、そのような企業への支援方法の一例をわかりやすくまとめています。

本冊子が都内中小企業の皆様の障害者雇用の促進やソーシャルファームの推進に役立てば幸いです。

令和元年6月

東京都産業労働局雇用就業部就業推進課

## 事業概要

### <障害者雇用促進支援事業>

ビジネスとの両立を図りながら障害者雇用の拡大等に取り組む中小企業と共同団体に対し、障害者の雇用環境整備に関する支援及び経営支援をするとともに、資金調達や障害者の能力開発に関する支援等を行う。

### 支援内容

#### (1) 障害者の雇用環境整備・経営の支援

(①と②の支援は必須)

①障害者の雇用環境整備への支援……障害者の作業手順改善、就業環境の整備、新規業務の開発等

障害者雇用の支援に関して実務経験のある専門家を派遣(1企業当たり8回まで)。

②経営支援……経営改善、生産性の向上、新商品の開発、マーケティング等

東京都中小企業振興公社に登録されている専門家を派遣(1企業当たり8回まで)。

例：5年以上の実務経験のある、中小企業診断士、社会保険労務士、税理士等

#### (2) 障害者の能力開発やキャリアアップの支援

企業等に在職する障害者の能力開発のため、東京しごと財団の障害者委託訓練担当者が、企業等に在籍する障害者の雇用の継続に必要なパソコン訓練の相談に応じる。なお、雇用の継続が見込まれる方で、企業等の了承が得られた方が対象。

#### (3) 資金調達の支援

運転資金や設備投資資金の融資を希望する場合は、東京都制度融資による産業力強化融資(略称チャレンジ)を案内する。(融資の可否は、金融機関及び東京信用保証協会の審査結果による。)

社名

# 有限会社アトリエ渋谷

所在地	東京都千代田区神田小川町 3-10-15-401
業種	広告・デザイン業
従業員数	7人（平成30年5月29日時点）
障害者雇用数	3名（内 精神2名、知的1名）（平成30年5月29日時点）

## ●本事業を利用しようと思った経緯

有限会社アトリエ渋谷では本事業の利用以前から、障害者の雇用を行っていました。本事業での支援の対象者は、精神障害者Aさんと知的障害Bさんの2名にしました。Aさんに関しては、3年半アトリエ渋谷に勤務しているものの、就業状況は安定せず、連絡もなく休んでしまうことがあったので、何とか定着してもらい、まずは長く働いてもらう土台を作らなければいけない状態でした。Bさんに関しては模写絵を書く

ことに非常に長けており、彼の自立を考えた時に、模写絵を世の中のたくさんの人に知ってもらい、絵を活用したグッズなどをたくさんの方に買っていただくことで、彼の自立の支援になるのではないかと考えました。そんな折に、以前から相談をしていた東京しごと財団の方から本件支援事業について紹介を受け、支援を受けることを決めました。



# 障害者雇用環境整備支援

## ●希望する支援内容

精神障害があるAさんは、安定的な勤務に課題があり、連絡なく休んだりしていました。その結果、Aさんが休んだ業務分をほかの社員が肩代わりしなければならず、Aさんを戦力として雇っているにもかかわらず、現場に迷惑をかけている状態でした。そこで障害者の定着に関する支援を行っていくことで、少しでもAさんが安定的に勤務できる体制を構築することを希望しました。

## ●当初の目標設定

精神障害者の勤務安定化、障害者の新規雇用

## ●支援計画・方針

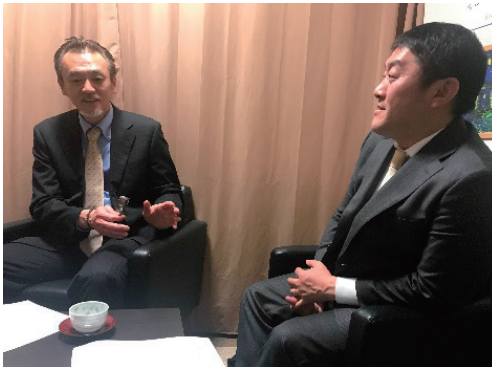
- ① 現状の業務分析をしっかり行い、明確な役割分担を実施できるような下地を作る。
- ② 業務の全体像を把握した上で、障害者への役割を明確にする。
- ③ 役割を明確にするために、社長と障害者の期待値のすり合わせを行い、最適な業務量を定める。
- ④ 業務と役割を明確にし、将来的なキャリアステップを構築することで、最終的には就業規則改定にまで踏み込む。

## ●各回の支援内容

### ■役割の明確化

Aさん並びに会社としての業務分析を行い、どの程度の業務量がAさんに発生しているのか現状把握を行いました。安定勤務できない原因として、役割と目標が明確になっていないためと考えたからです。分析を行い、現状を把握することで、今一度Aさんの役割と目標を明確にすることに着手し取り組みました。





支援の様子



職場の様子

### ■業務・目標管理

分析ツールを使い、Aさんに任せる仕事の適正量と役割分担の方向性をアドバイスしました。役割が明確になれば目標設定・目標管理が可能になります。普段の業務の中で自分の役割を認識し、日々の目標を達成できるような環境を構築するため、切り出した業務をタスクベースに落とし込み、業務管理ツールを活用し、業務進捗の見える化を行うことで業務・目標管理ができる体制を整えました。

### ■マネジメントラインのシンプル化

これまで様々な方（社長や先輩社員）から業務指示が入り、相談窓口が様々であったため、指示命令系統や報告のラインを1本化し、マネジメントラインをシンプルにしました。それにより、仕事を進める上での「困惑」を可能な限り解消し、本人が仕事・目標に集中できるような環境を構築することが可能となりました。

### ■定着支援のシンプル化

Aさんに対して複数の支援機関が定着支援を行っていたため、各就労支援機関の役割分担を明確にしました。複数の支援機関から言われることは三者三様であり、どのアドバイスを取り込むべきか、どこに相談をするべきかなどの迷いも生じます。役割を整理したことで、その迷いを取り払うと同時に、支援の方向性と会社の方針とのすり合わせができ、企業と支援機関がより連携を取りながら本人への支援を行うことができました。

## ●最終結果

### ■出勤状況の劇的な改善

昨年と比べた際に、Aさんの勤務状況が大幅に改善されました。

2017年12月 総勤務時間：124H → 2018年12月 総勤務時間：157H (33H増)

出勤日数：17日 → 出勤日数：20日 (3日増)

2018年1月 総勤務時間：106H → 2019年1月 総勤務時間：119H (13H増)

出勤日数：15日 → 出勤日数：16日 (1日増)

2018年2月 総勤務時間：125H → 2019年2月 総勤務時間：166H (41H増)

出勤日数：17日 → 出勤日数：21日 (4日増)

### ■新規の障害者の雇用の実現

Aさんの雇用の安定化、戦力化に伴い新規の障害者3名の雇用が実現しました。

- ・精神障害者（発達障害）2018年11月入社
- ・精神障害者（統合失調症）2018年12月入社
- ・身体障害者（聴覚障害）2019年1月入社

### ■職場環境の改善

2018年11月より会社として社会保険にも加入し、より社員（障害者）が安心して長く働ける環境を整備できました。

# 経営支援

## ●希望する支援内容

知的障害のBさんについて、模写絵師として世の中のたくさんの人に知ってもらいたいという思いはあるものの、社内にマーケティングのノウハウが無いため、経営支援を通じてBさんの絵を活用したグッズなどを売り出し、たくさんの方に知ってもらうための支援を希望しました。

## ●当初の目標設定

自社の知的障害者が描く絵を活用した新規事業の立上げ

## ●支援計画・方針

- ① Bさん（以下、「ツネキチ」という。）の作品（模写絵）を活用したグッズなどを売り出し、事業として成立させるために、ネットショップやクラウドファンディングを活用した販路拡大に取り組む。

## ●各回の支援内容

### ■事業化のアドバイス

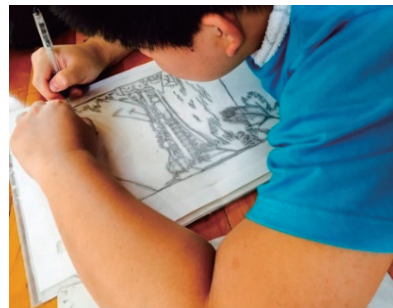
事業として成立させるための4つのステップをアドバイスしました。：1. 社長やツネキチのお母さんの絵に対する思いを整理 2. 現状分析（他社の障害者アートの取組、障害者アートのニーズ など）3. 戦略（誰を対象に、どのように売り出しを行うのか など）4. 戦術（ネットを活用するのか、個別に企業に営業をかけるのか、作家に注目して売っていくのか、作品に注目して売っていくのかなど）



チラシ：Gallery 蔵にて個展開催



作品制作に取り組むツネキチ



ツネキチの作品

## ■ F A B E 分析の実施

### 1. Feature (特徴) :

障害者が作った／ストーリー性がある (幸せになれる) 独特の視点やタッチ

### 2. Advantage (優位性) :

知的障害者ゆえの純粋性／継続して絵を描くことができる / 独自性を保ちつつ、正確な模写ができる

### 3. Benefit (何が欲しがられているか) :

社会福祉に対する意識が高いことをアピールできる / つねきちの絵を持っているステイタス

### 4. Evidence (欲しくなる根拠) :

著名作家や歴史家のコメントがもらえると良い

## ■ ネットショップ「BASE」の活用のアドバイス

ツネキチの模写絵の販売を行うと同時に、BASE の位置づけ (ブランディング・PR 考課) や、サイト上の商品の見せ方などもアドバイスしました。

## ■ クラウドファンディング活用のアドバイス

WEB 的なアプローチだけでなく、リアルでのマーケティングの必要性から、個展の開催を決定しました。その開催資金を集める方法として、クラウドファンディングを提案・活用方法のアドバイスを実施しました。

## ■計画作成のアドバイス

新規事業や新規雇用を行う上で、会社としては黒字化を目指す必要があります。そのためにも、会社として売上・利益計画を立て、それを達成させるためのPDCAサイクルを回すことをアドバイスしました。



ネットショップのQRコード

## ●最終結果

- ・ネットショップを立上げ、絵を活用したグッズの販売を開始することが出来ました。
- ・クラウドファンディングを申込み、数ヶ月後に作品の個展を開催する準備を始めることが出来ました。
- ・今後のマーケティング戦略に向け、明確な目標を持つことが出来ました。

### 渋谷社長からのコメント

今回の支援を通じて、有限会社アトリエ渋谷をより「会社」らしく変えていくことができました。障害者に関する支援を（株）D&Iに行ってもらいましたが、精神障害がある社員の現状の業務分析をし、業務管理表を用いて指導できる体制になったことで、本人が「責任感」を持てるようになった様子がみて取れました。役割・業務が明確になることで安定就業に繋がったと思います。また、



有限会社アトリエ渋谷 渋谷社長

そういった支援を通じて、「会社としてどうあるべきか」を考えることができ、人を雇用する責任を私自身より一層感じるようになれました。また、経営支援の岩岡先生には、弊社がネットビジネスやマーケティングノウハウがなかったため、その部分をサポートしていただきました。弊社の社員が描いた作品の認知度を上げていくための様々な手法を、専門的にご教授下さいました。結果として、クラウドファンディングに申込み、数か月後に作品の個展を開催することが決まったことは大きな成果だと思います。今後は、それぞれご支援を頂いたことをベースに、

より社員が長く活躍できる職場を創ると同時に、弊社の取り組みをもっと多くの方々に知っていただき、少しずつ会社として成長をしていきたいと思えます。

## ●支援を行った専門家・それぞれからのコメント

### 株式会社 D&I からのコメント

弊社の支援を通じ、障害当事者の出勤状況の改善や、職場環境改善、新規の雇用などに貢献できたことを喜ばしく思います。これまで様々なアドバイスをさせて頂きましたが、一つ一つ社長自ら愚直に取り組んでいただいたことで、上記のような成果が達成できたのだと思います。戦力化や新規の雇用に向けて大きく前進をしたからこそ、各々がしっかり役割に徹することのできる組織を目指し、長く存続できる会社を目指して邁進されることを応援しています。

### 岩岡先生からのコメント

有限会社アトリエ渋谷は、知的障害者により制作された絵画作品の営業展開について希望していたので、同社のこれまでの取組みに配慮しながら、WEBも含めたマーケティング手法に関する支援を行いました。特に、同社の新事業でもあるこのプロジェクトの事業化達成に向け、顧客ニーズの観点から、ベネフィットやブランディング面でのアドバイスを行いました。社長やご担当者様には、毎回の支援で積極的に課題解決に取り組んでいただき、顧客ニーズに合わせた商品づくりやネットショップの開設という成果を出すことが出来ました。今回の支援では、商品の物語性や事業黒字化による自立性を学んでいただけたと思います。このような前向きな姿勢を大切に、障害者雇用をチャンスに変えていける企業を目指してほしいと思っています。今後も、期待しております。

社名

# 株式会社モンテカンポ

所在地 東京都港区西新橋 2-13- 6 ミタニビル3階

業種 ソフトウェア受託開発事業、ソフトウェア受託検証事業、  
ソフトウェア品質管理支援事業

従業員数 13名（平成30年6月1日時点）

障害者雇用数 精神障害者2名（平成30年6月1日時点）



## ●本事業を利用しようと思った経緯

社長の山野が所属している東京中小企業家同友会にて本件支援事業について紹介を受けて希望しました。もともと2名の障害者の方を雇用しておりましたが、東京都産業労働局から本事業をご説明頂いたとき「障害当事者の方々の働き方を見直す良い機会だな」と考えました。障害者雇用といえども、しっかり成果を出せば評価し、昇給する制度を構築するのが企業としてあるべき姿であり、障害の有無関係なく一人ひとりが「つよみ」を活かせる会社でありたいと思ったことが、申し込んだ一番の理由になります。

# 障害者雇用環境整備支援

## ●希望する支援内容

モンテカンポでは2名の障害者を雇用していますが、社長が抱える会社の課題として、雇用している障害者に対する配慮ができていないか、特に評価制度や賃金規定についてどのように構築していけば良いのか、という点があり、この課題を解決できるような支援を障害者の雇用環境整備の専門家に希望することとなりました。さらに既存事業の組み合わせと障害者を雇用しているノウハウをもとに、障害者支援を行う新規事業の立案についても、支援を希望しました。

## ●当初の目標

障害者支援を行う新規事業の立案、障害者用の評価制度や賃金規定の作成、障害者の能力向上

## ●支援計画・方針

- ① 新規事業支援：障害者委託訓練事業における企画立案・内容構築・実行フェーズまでのアドバイス
- ② 雇用している障害者への評価制度、賃金規定、就業規則の構築のアドバイス

## ●各回の支援内容

### ■勉強会の実施

新規事業として障害者雇用を活用したモデル事業を検討されていました。その大前提の知識として、現行の福祉サービス全般、委託訓練事業に関する勉強会を実施し、新規ビジネスの方向性を模索しました。

### ■委託訓練事業の目的・位置づけの明確化の実施

勉強会の内容を踏まえ、新規事業として、初期投資の少ない委託訓練事業を行うことを決定しました。委託訓練をスタートさせていくまでの流れや委託訓練の実施方法・運営体制に関するアドバイスを実施致しました。





支援の様子

#### ■障害者委託訓練事業実施後を見据えたアクションプランの提示（マーケティング・社内体制）

今後の障害者雇用関連の事業を模索するなかで、（株）モンテカンポの現リソースを鑑み、リスクを最小限に抑えた形でスタートを切りやすい障害者委託訓練事業からスタートさせることが決まりました。障害者委託訓練事業はマーケティング・ノウハウ構築の観点での実施目的として考え、その取り組みを実施してみた上で今後の障害者雇用関連の事業の方向性を決めていくこととなりました。

#### ■現在就業している障害当事者への評価の仕方のアドバイス

社内で障害者雇用を行う中での就業規則・評価制度・賃金規定をどのように考えていくべきかという点で他社の事例を紹介しながら、アドバイスを実施いたしました。（株）モンテカンポのポリシーや理念から落とし込んでいき、独自の制度や規定の大枠を決定し、4月から試験的な運用を実施していくこととなりました。

### ●最終結果

- ・新規事業（障害者委託訓練事業）の実施：4月から開講
- ・評価制度や賃金規定の大枠の策定：4月から運用開始
- ・1名の障害者の新規雇用の実現：障害者雇用・定着のための環境がそろったことが後押し

# 経営支援

## ●希望する支援内容

当初は障害者雇用における労務管理に関するアドバイスをさせていただく予定でありました。しかしながら、障害者支援を行う新規事業も検討していきたいという希望もありました、そこで、労務管理のコンサルタントから、PR・ブランディングの支援を強みとしているコンサルタントに変更して、新規事業を行う上での事業化のアドバイスや販売・広報戦略のアドバイスを希望することとなりました。

## ●当初の目標

本業のソフトウェア検証業務における新規事業展開や販路拡大  
障害者委託訓練の効果的な広報

## ●支援計画・方針

- ① 障害者を雇用し戦力化してきたノウハウや実績を活かして、障害者委託訓練や新規事業を展開していくためのアドバイス
- ② 販売戦略や広報面の知見や情報提供

## ●各回の支援内容

### ■障害者委託訓練の事業化にむけて

ブレインストーミングによる課題整理・仮説づくりを実施しました。民需を対象としたビジネス展開、講座を切り口とした顧客ターゲットの設定、市場へのアプローチの仕方について検討しました。

### ■ビジネス仮説の考え方

新規顧客からの受注を得るために、プロモーションや営業ツールなど、具体的方法に結びつけるための「ビジネス仮説の考え方」をペルソナマーケティングの手法で解説しワークショップ形式で実践を行いました。



スマートフォンやパソコンを使ったソフトウェアテスト技能	
● 受講者対象	IT関係者、開発者、QA関係、その他IT関係者（高度情報技術者、情報セキュリティスペシャリスト、情報セキュリティスペシャリスト、情報セキュリティスペシャリスト、情報セキュリティスペシャリスト）
● 受講料	受講料 10,000円（税込）
● 受講期間	2019年4月10日（水）～12日（金）
● 受講時間	10:00～17:00（1日4時間）
● 受講場所	東京・丸の内線 丸の内駅 徒歩5分
● アフターケア	受講後、研修生として就業先へ派遣される

障害者委託訓練のPRチラシ

## ■新たな新規事業

ペルソナを発展させたセグメンテーション、ターゲティング仮説の作成、ペルソナマーケティングを一步進め、ペルソナからセグメンテーション、ターゲティングを導き出す考え方を説明し、ブレインストーミングを通じて市場創造の仮説立案を实践し、「IoTを使った見守りビジネスに特化する仮説」を立てました。山野社長が興味を持つ、保育・介護に焦点を絞ると、IoTを活用した新たな事業分野であり、数多くの新商品がでてきていること、また業界として未成熟のためノウハウの蓄積が薄いことなどから、検証業務の受託は需要拡大が見込まれることがわかりました。より早い参入とノウハウ蓄積が差別化要因になると考えられることがわかったため、今後の新たな事業化に向けた方向性決めを行うことができました。

## ■障害者委託訓練に関するPR

障害者委託訓練事業のPR方法の考察を行いました。障害者委託訓練の集客力を高めるためのターゲティングとフックになり得るキーワードを選定し、チラシやプレス等の周知資料作成のアドバイスを行いました。

## ■新規事業の顧客ニーズとビジネス構築の検討

障害者雇用を3年間続けている実績とノウハウを強みとし、本業のソフトウェアテスト業務と関連したビジネスを考えるにあたり、顧客が、競合他社を含めた選択肢の中で、モンテカン

ポを選ぶ要件を検討しました。また、具体的な顧客アプローチとしては、障害者雇用のモデルケースとして、モンテカンポが他の企業向けに障害者雇用に関する社内見学会を行い、そのつながりの中で、モンテカンポの事業説明や優位性をアピールしていく販路開拓の方法を考えました。また、社長からご提案いただいた障害者向けサテライトオフィス事業の実現可能性の検討も行いました。

## ●最終結果

- ・新規事業に関する考え方の整理や事業化に向けた土台（準備）を形成することができた
- ・障害者委託訓練事業のPRチラシを作成することができた

### 山野社長からのコメント

この度、障害者の支援では（株）D&Iに障害者支援を行っていただきました。障害を持つ社員にも適応できる賃金規定・評価制度の大枠ができたことや、その目的にプラスして新しく障害者委託訓練を開始することができたのは、達成状況としては100%以上だと思っています。また、経営支援では伊豫田先生に新規ビジネスの構築やプレスリリースの手法についていろいろと教えて頂き、学びとなりました。しかしながら、経営支援の専門家がなかなか決定せず、少し無理やりな日程調整などが発生してしまったことや、それによる目標設定が明確にできなかったこともあり、達成状況が測りにくい結果となってしまったことが、1つ残念でした。今回の支援を受けたのも、社員が自分の「つよみ」を伸ばしていける会社になりたいとずっと考えていたからです。この事業を通じ新たな制度を運用していくことで、障害者も含めた社員一人一人の「特性＝つよみ」を伸ばせる環境が今まで以上に整えば良いと考えています。また今後は、本支援や新規事業を通じ弊社の障害者雇用の取り組みを発信していくことで、我々と同じような規模の他の企業様でも、当事者がやりがいを持ち、各々「つよみ」を伸ばしていける環境を創ることに貢献できればと考えています。



(株)モンテカンポ 山野社長

## ●支援を行った専門家とそれぞれからのコメント

### 株式会社D&Iからのコメント

この度の支援を通じ、新規事業（委託訓練事業）や評価制度の策定に貢献できたこと。更には、障害者の新規雇用の創出ができたことは、非常に喜ばしいことでした。山野社長の障害者に対する想いを、公正・公平に社内の制度に組み込めるよう努めました。とはいえ、今はまだ土台の構築ができたフェーズだと思しますので、今後の運用次第でモンテカンポ様の更なる「つよみ」として伸ばしていけることを期待しています。モンテカンポ様の取り組みが、波及されることで、多くの障害者が雇用され、戦力となれる社会づくりに貢献されることを応援しています。

### 伊豫田先生からのコメント

今回の支援では、マーケティングを強化したいという山野社長の希望を受け、ワークショップを交えた実践形式で、ビジネスモデルや販路開拓の検討を行いました。支援を通じて、

- ・ 障害者を企業の戦力にできること
- ・ 障害者雇用を強みとしたビジネスモデルができること

山野社長自らが率先して取り組み、アイデア出しをしていく中で、市場の競争を生き抜く差別化要因となる手ごたえを実感いただけたと思います。近年の環境ビジネスや今後のロボット産業がそうであるように、いち早く参入し、社会に適合する価値を作った企業にだけ与えられるチャンスです。それを掴めるかどうかは、経営者の考え方ひとつと言えるでしょう。小さな規模を逆手に取り機動力に出来る中小企業こそ、障害者を活かしたニッチビジネスに向いています。本支援を活用し、そこに着目した山野社長には、障害者雇用とビジネスを両立させるフロントランナーとして、さらなる飛躍を期待しています。

# 東京都産業労働局 平成30年度 障害者雇用促進支援事業アンケート 集計結果

## 【1】この度の東京都産業労働局障害者雇用促進支援事業を知ったきっかけ・申し込んだきっかけを教えてください

アトリエ渋谷	東京都の方から支援事業のご連絡をいただいたことで知りました。
モンテカンポ	東京中小企業家同友会にて、本支援事業について紹介をいただきました。

## 【2】雇用促進支援を希望した理由を教えてください。

アトリエ渋谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経営支援 知的障がい者の社員が描いた作品の商品化を考えていており、ネットビジネスでの展開をどのようにしていけば良いのかを専門的な助言を頂き、弊社の現状の経営で改善すべき点のアドバイスをお願いしたく希望しました。</li> <li>●障害者の雇用環境整備支援 障害者雇用を始めて三年、さまざまな支援機関、支援者の方々のお世話になってきましたが、精神障がい者の社員の動向が安定しないため、今後の定着に向けて専門的なアドバイスを頂きたく、また、新規雇用にあたり新たな業務をどのように増やしていくかの助言をお願いしたく希望しました。</li> </ul>
モンテカンポ	雇用している障害者の方に対する配慮ができていないか、特に賃金制度や評価について相談をしたいと思ったため、支援を希望しました。

## 【3】各支援の満足度とその理由を教えてください ※該当するものに「○」をお願いします。

障害者雇用支援	非常に満足	やや満足	ふつう	やや不満	非常に不満
アトリエ渋谷	○				
モンテカンポ		○			

### ※理由（障害者雇用支援）

アトリエ渋谷	経営方針から障害者雇用の考え方を丁寧にご指導して頂きました。
モンテカンポ	当初の目的であった賃金についてや、評価のしくみについて大枠で策定する事ができました。4月から訓練も開始になります。ありがとうございました。

経営支援	非常に満足	やや満足	ふつう	やや不満	非常に不満
アトリエ渋谷	○				
モンテカンポ				○	

### ※理由（経営支援）

アトリエ渋谷	ネットビジネスにおいて、マーケティング戦略などの考え方や進め方をご教授頂き大変勉強になりました。
モンテカンポ	専門家の選定がなかなか決定せず、結果最後の方は無理やり日程調整などが発生したために帳尻合わせのような感じになったのは残念でした。

## 【4】今回の支援を受けて自社内で取り組んだこと・考え方が変わったことをそれぞれ教えてください。

### ■障害者雇用支援

アトリエ渋谷	精神障がいがある社員の現状の業務分析をし、業務管理表を用いて指導をして頂き実践しました。社長自ら本人の支援をしてきたことや、社長や先輩社員から行っていた業務の支持を、先輩社員に一本化するように指導を頂きました。
モンテカンポ	今まで決めていなかった賃金テーブルを作成した。3月より新たに1名障害者雇用を開始した。4月から職業訓練を開始することができそうである。

### ■経営支援

アトリエ渋谷	弊社のマーケティング戦略が未熟だったことに気づいたこと。それにより、社員が描いた作品の認知度を上げていくための様々な方法を専門的にご教授頂いたことで視野が広がった。
モンテカンポ	ペルソナ分析など、経営戦略について学ぶことができた。

## 【5】最終目標の達成状況を教えてください

### ■障害者雇用支援

アトリエ渋谷	業務管理表を業務の一部と実施した結果、業務の責任感を少しづつ持てる様になった。先輩社員が業務の支持や支援を一本化するよう指導を頂いたことにより、役割・業務が明確になったことで動向が安定した。
モンテカンポ	当初の目的にプラスして、新しいビジネスを開始することができそう、達成状況としては、100%以上です。

### ■経営支援

アトリエ渋谷	クラウドファンディングを申込みし、数ヶ月後に作品の個展を開催する準備を始めることが出来た。また、今後のマーケティング戦略に繋げ明確な目標を持つことが出来た。
モンテカンポ	専門家からの経営支援ということでしたが、当初の目標設定をあまり明確にできていなかったため、達成状況が測りにくい状況となりました。

**【6】今後の展開、新しく取り組もうと思っていることを教えてください。**

■障害者雇用支援に関すること

アトリエ渋谷	今回支援して頂いたことの経験を生かし、今後の定着に向け既存の健常社員に強いサポート意識を持ってもらえるように、職場内サポーターの育成に力を入れていく。
モンテカンポ	賃金テーブルの適用、定期的な面談、職業訓練

■経営支援に関すること

アトリエ渋谷	クラウドファンディングを成功させ、今後のマーケティング戦略に繋げていく。
モンテカンポ	新規ビジネスの構築、プレスリリース

**【7】本事業の改善点や具体的なお要望があれば教えてください。**

アトリエ渋谷	特になし。
モンテカンポ	日的に後半によってしまう傾向があるので、この点について改善ができると余裕を持って進めることができると感じました。特に前半の日程調整が上手く進んでいないように感じました。

**【8】本事業で、東京都の役割やコーディネートに求める要望があれば教えてください。**

アトリエ渋谷	特になし。
モンテカンポ	東京都のご担当者の方に何をお願いしてよいのかがわかりませんでした。

**【9】本事業以外に経営支援・障害者雇用に関する支援を受けているか教えてください。**

受けている場合は支援の名称とその内容を教えてください。※該当するものに「○」をお願いします。

■障害者雇用に関する支援を受けている

	はい	いいえ
アトリエ渋谷	○	
モンテカンポ		○

※障害者雇用に関する支援の内容

アトリエ渋谷	移行支援事業所の定着支援事業
モンテカンポ	特になし

■経営支援を受けている

	はい	いいえ
アトリエ渋谷		○
モンテカンポ	○	

※経営支援の内容

アトリエ渋谷	なし
モンテカンポ	経営戦略の策定

**【10】ソーシャルファーム（社会的企業）を増やし・広めていくために、どのような都の支援が必要だと考えますか。**

※ソーシャルファームとは、補助金等に頼らずに障害者や刑余者、高齢者などの就労困難者を3割以上雇用し、健常者とともに働く社会的企業のことです。

アトリエ渋谷	弊社は社員8名の内、精神障がい者3名、聴覚障がい者1名、知的障がい者1名、高齢者1名が働いています。内3名が「障害者トライアル雇用」を利用し、マナーを含めた基礎教育から始め、技術の習得を目指しますが、現状、雇用から3年半を過ぎた精神障がい者の社員は支援機関の支援を定期的に受け、仕事に対するフォローもまだまだ必要です。手帳を持っている以上、出来ないことがあります。健常者とともに働くには、会社・社員が障がいを理解し、フォローをし続けなければ退職してしまう方も多いため、障害者雇用をしている企業に対し、助成金は必須で、長期助成金などの取組を検討していただければと思います。
モンテカンポ	同じような規模の会社や同じような業態で就職困難者を雇用し、当事者がやりがいを持って働いている企業の事例報告や、見学などを積極的に行える仕組みづくりをされてはいかがでしょうか。（既にありましたら、申し訳ありません）

**【11】障害者雇用にあたって何か知りたいことや困っていることなどがありましたら自由に記入ください。**

(例 助成金制度、その他サポートのご要望など)

アトリエ渋谷	なし
モンテカンポ	雇用を始めて知らなかった事も知れるようになりましたが、あまりに専門的な用語や類似した言葉が多く、雇用を始めた当初は非常に困りました。

令和元年度 6月発行

編集・発行 東京都産業労働局雇用就業部就業推進課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

電話 03-5320-4663

R70

全国印刷産業連合会70%再生紙を使用しています  
環境負荷低減に貢献しています

リサイクル適性<sup>®</sup>

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

印刷番号 31 (30)